

「ポリープ状脈絡膜血管症に対する光線力学療法と 抗 VEGF 治療併用の長期予後の検討」

研究実施のお知らせ

1. 研究の対象となる方

以下の基準を全て満たす患者さん

- 2012年9月1日～2028年3月31日の期間にポリープ状脈絡膜血管症と診断され光線力学療法と抗 VEGF 治療（硝子体内注射）併用療法を行った方
- 先行研究「黄斑疾病感受性遺伝子の探索（承認番号 1961）」に参加いただいた方
- 50歳以上の方

2. 研究の目的

今回の研究では、ポリープ状脈絡膜血管症の患者さんのカルテを見直し、そのデータ（年齢・性別、遺伝子多型、画像所見や視力など）を評価し、同疾患のリスクとなるような因子や視機能の予後について調査します。

3. 研究の方法

先行研究「黄斑疾病感受性遺伝子の探索（承認番号 1961）」に参加いただき、かつ、2012年9月1日～2028年3月31日の期間にポリープ状脈絡膜血管症と診断され光線力学療法と抗 VEGF 治療（硝子体内注射）併用療法を行った患者さんの初診時検査所見（遺伝子解析結果を含む）やその後の画像所見や視力などを調べます。

4. 研究期間

研究機関の長の許可日～2030年3月31日

5. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：診療録情報（年齢、性別、視力、画像データ）、個人遺伝子解析結果（「黄斑疾病感受性遺伝子の探索（承認番号 1961）」において得られた情報）。

なお、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録より取り出しますので、改めて患者さんに行っていただくことはありません。

試料：該当なし

6. 外部への試料・情報の提供

該当なし

7. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

この研究は以下の責任者のもとで実施します。情報の利用者は眼科学講座の研究者のみです。

【研究責任者】

山梨大学 眼科学講座 四條 泰陽

8. 試料・情報の管理について責任を有する者

山梨大学

9. 個人情報の取扱いについて

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

10. 利益相反（企業との利害関係）について

該当なし

11. お問い合わせ等について

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又は FAX にてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又は FAX にてご連絡ください。

〈お問い合わせ等の連絡先〉

山梨大学医学部眼科学講座

助教 四條 泰陽

メールアドレス：tshi.joh@yamanashi.ac.jp

FAX：055-273-9657